

平成23年度（2011年度）

日田市埋蔵文化財年報



発刊にあたって

日田市内では、平成23年度も民間開発・公共事業などにもない各所で埋蔵文化財調査が行なわれ、それとともに郷土の歴史に新しい発見がもたらされました。

特に本年は、伝姫塚古墳出土の「伝姫塚古墳出土鉄剣」が市の有形文化財に指定され、また小野川の川底から発見された火砕流堆積物と樹木群が、「小野川の阿蘇4火砕流堆積物及び埋没樹木群」として国の天然記念物に指定されるなど、郷土に誇れる貴重な文化財が新たに加えられた年となりました。また、史跡指定にむけた「永山城跡」の発掘調査が別府大学と協力して始められ、今後の成果が期待されています。

これからも日田市内で発見された文化財を地域の歴史として市民の方々に身近に感じることが出来るように、文化財の調査はもとより資料等を活用した普及・啓発事業に努めてまいります。

最後になりましたが、この1年間日田市の埋蔵文化財調査および普及・啓発に多大なるご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に、心よりお礼を申し上げます。

平成24年5月

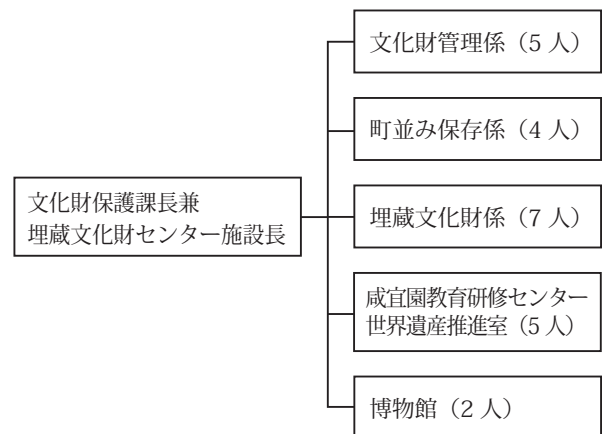
日田市教育庁文化財保護課長 財津 俊一

例 言

組 織

1. 本書は、平成23年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センターにて保管・展示している。
3. 表紙写真は、城下町遺跡の空中写真（本文P7参照）である。裏表紙写真は、筑後軌道で検出された転車台である。（本文P14参照）。
4. 本書の執筆はⅠ－1）を行時が、Ⅰ－2）を各調査担当者が行い、文責を末尾に記している。Ⅱは土居、Ⅲは、各事業担当者が行った。
5. 編集は各担当者の協力の下、上原が行った。

平成23年度の日田市教育庁文化財保護課の構成及び埋蔵文化財系の組織は以下のとおりである。（平成24年3月現在）



《埋蔵文化財係》

埋蔵文化財係長	土居 和幸	総括
主 査	華藤 善紹	史跡整備事業担当
主 査	井上 和泉	普及啓発事業担当
主 査	行時 桂子	民間開発事業担当・事前審査担当
主 査	若杉 竜太	公共事業担当
主 査	渡邊 隆行	史跡整備事業・保存修理事業担当
主 事	上原 翔平	埋蔵文化財補助事業担当

目次

I 平成23年度の埋蔵文化財調査事業	— 1	Ⅲ 平成23年度の埋蔵文化財普及・啓発事業	— 20
1) 平成23年度の埋蔵文化財調査の概要	— 1	1) 埋蔵文化財センター運営事業	— 20
2) 発掘調査・確認調査の概要	— 7	2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動	— 22
Ⅱ 平成23年度の発掘調査報告	— 14	3) 新指定の文化財	— 25
筑後軌道豆田駅転車台跡の調査報告	— 14	4) 埋蔵文化財関連の保存修理	— 26
		5) その他（掲載申請・資料借用、貸出・受領図書・刊行物など）	— 26

Ⅰ 平成23年度の埋蔵文化財調査事業

1) 平成23年度の埋蔵文化財調査の概要

平成23年度の発掘調査等の動向（表1～4）

平成23年度の民間開発・公共事業に伴い提出された埋蔵文化財の所在の有無についての事前照会は、計195件（民間開発131件、公共事業64件）であった（表4）。これらのうち試掘・確認および立会調査は21件（民間開発14件、市公共事業4件、県公共事業1件、民間開発立会1件、公共事業立会1件）を実施した（表3）。

発掘調査は8件実施し、市公共事業に伴うものが4件、県公共事業に伴うものが3件で、民間開発に伴うものはなかったが、民間の調査団体との協働事業が1件である。市公共事業は、史跡整備・重要遺跡確認・防災事業・市道改良事業に先立つものがそれぞれ1件ずつで、県公共事業3件は全て圃場整備に先立つものである。

事前審査の照会件数は、前年度と比較して15件ほど減少している。公共事業に伴う事前照会件数は前年度より11件増加しているが、民間開発に伴う事前照会件数は26件減少している。公共事業増加の主な要因としては、建物等の老朽化や小中学校の合併による学校施設の整備が挙げられる。また、民間開発については、個人住宅・分譲地造成にかかるものが微減しているのに比べ、アパート・マンション等の集合住宅が微増しているが、特筆されるのは携帯電話の鉄塔建設であろう。昨年度は年間の民間開発に伴う事前照会の約半数を占める77件が提出されていたが、本年度は40件に留まっている。しかし減少しているとはいえ、本年度の民間開発照会件数の約1/3を占めており、携帯電話をはじめとする無線通信技術の進歩を考慮すると、個々の開発面積は小さいものの、面積数㎡の電柱タイプだけでなく数10㎡を必要とする鉄塔タイプも増えていることから、今後ともその開発の動向に注意していく必要がある。

平成23年度の発掘調査の内容（表2）

ここ2年ほど本調査の数は少なかったが、本年度は朝日地区において圃場整備関連の調査が開始されたため、8遺跡（計16,247㎡）と大幅に増加した。

本年度調査の内容を振り返ると、旧石器・縄文時代にかかる本調査はなかったが、尾部田遺跡2次調査で遺構検出中に縄文土器の出土が見られた。

弥生時代では、花ノ木遺跡1次調査で後期の竪穴建物跡と溝状遺構が、平田遺跡でも後期の竪穴建物跡が見つかった。なお花ノ木遺跡1次調査地に隣接する2次調査地では弥生土器が出土している。

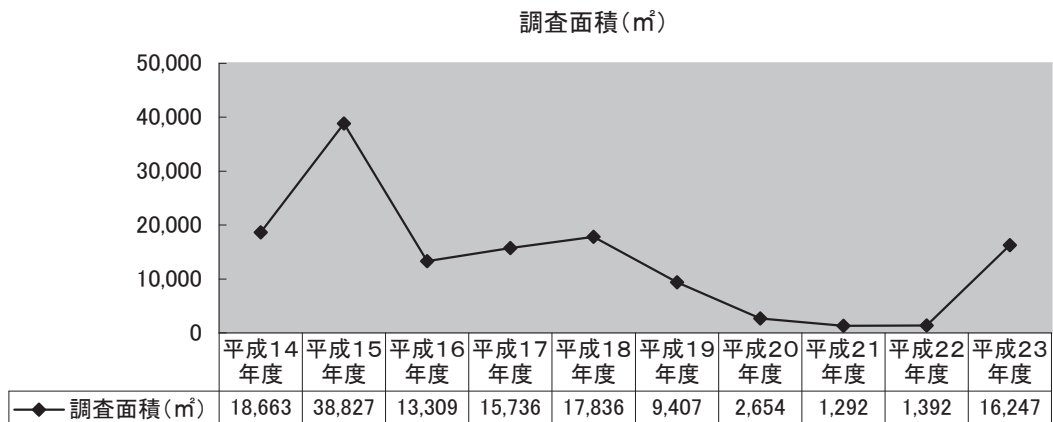
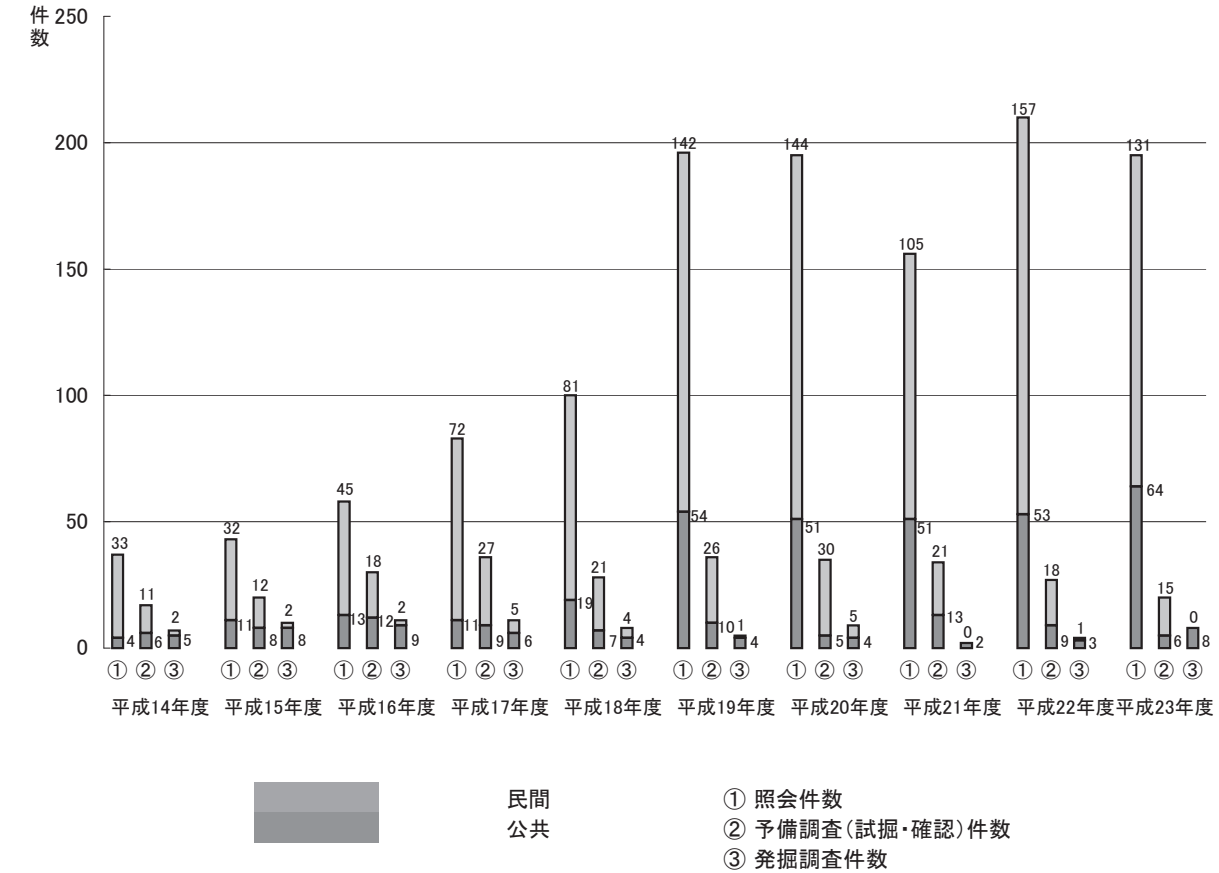
古墳時代では、まず史跡整備に伴うガランドヤ古墳3次調査において、1号墳石室の閉塞状況や内護列石・小マウンドの状況が確認され、墳丘規模の再検討の結果、28.7m（従前は25.4m）と推定することができた。そのほか、花ノ木遺跡1次調査で前期～中期の竪穴建物跡や溝状遺構と後期の溝状遺構、同2次調査でも前期～中期の竪穴住居、平田遺跡で5世紀前半～中頃の竪穴建物が確認されている。

古代では、花ノ木遺跡1次調査で奈良時代の掘立柱建物跡と溝状遺構、尾部田遺跡2次調査で古代後半の土坑と8世紀代の溝、平田遺跡で総柱建物を含む8世紀代の掘立柱建物群や10世紀代の土師器塀が出土した土坑などが確認されており、特に10世紀代の遺物は市内では出土例が少ないため、注目されるものである。

中世の調査例はなかった。それに対して近世の調査が多くなってきており、永山城跡2次調査では、本丸を中心とした調査で本丸御殿の痕跡や本丸石垣の築造当初の平面プラン、大手および搦手の構造などが確認され、北側の堀部分では、土塁の石積みを確認されている。また国選定重要伝統的建造物群保存地区である豆田地区内で初の本調査となった城下町遺跡では、江戸時代末の絵図と合致する遺物や遺構が見つかるなど、大きな成果が得られている。

さらに、近代のものとして、民間の調査団体と協働で実施した明治～昭和期の軽便鉄道・筑後軌道の調査では豆田町転車台跡が確認されており、全国的にも例の少ない貴重な調査となった。

表 1：埋蔵文化財の調査件数・面積及び調査担当者の推移



	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
専門職員数	4	4	4	6	5	5	5	5	6	5
嘱託職員数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
調査面積	18,663	38,827	13,309	15,736	17,836	9,407	2,654	1,292	1,392	16,247

面積単位 ㎡

平成 16 年度までは合併前 (旧市内) の数値。平成 17 年度以降は合併後 (旧郡部を含む) の数値。

表 2：平成 23 年度発掘調査一覧表

日田市教育委員会										面積単位：㎡
番号	調査名	所在地	事業主体	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	調査担当者	備考
1	城下町遺跡	大字豆田123-1	公共	防災施設建設	1,095	369	0427～1013	原因者	若杉	
2	史跡ランドヤ古墳3次	大字石井字西ノ園1187(ほか)	公共	史跡整備	-	25	0722～1115	国庫	渡邊	
3	永山城跡2次	丸山2丁目2-1	公共	重要遺跡確認	-	528	0810～1209	国庫	行時	
4	花ノ木遺跡1次	大字小迫字花ノ木	公共	圃場整備	177,044	10,723	0704～1205	原因者	上原	
5	平田遺跡	大字小迫字平田	公共	圃場整備		2,749	1003～1124	原因者	若杉	
6	尾部田遺跡2次	大字小迫字下山	公共	圃場整備		1,055	1019～1116	原因者	若杉	
7	花ノ木遺跡2次	大字小迫字花ノ木	公共	市道改良	12,270	787	0127～0323	原因者	上原	
8	筑後軌道豆田町駅車台	丸の内町34番地	公共	遺跡内容確認	-	11	0719～0906	-	土居	民間との協働調査 遺跡名「一丁田遺跡」

表 3：確認調査・立会一覧表

番号	遺跡名	区分	調査場所	事業目的	開発面積	調査面積	調査期間	調査区分	時代	遺構	遺物	申請番号	処置
9	三和教田	民間	大字三和字帖町 955、965 番地の一部	事務所・倉庫建設	1347	38	0420 ～ 0421	確認	弥生	土坑・ピット	弥生土器・石器・陶器	2010155	工事実施
10	日田条里	民間	大字十二町字花ノ木 524 番地 1	アパート建設	472.91	59	0602	確認	-	-	-	2011019	工事実施
11	尾園	民間	大字石井字堂園 1244 番地 1	保育園増改築	890.58	13	0624	確認	弥生～古墳	遺物包含層	縄文土器・弥生土器土師器・須恵器・陶磁器	2011011	工事実施
12	日田条里	民間	淡窓 2 丁目 260-9、260-12、260-13	共同住宅建築	137.37	6	0712 ～ 0713	確認	近世以降	遺物包含層	土師質土器ほか土器片、陶磁器片	2011024	工事実施
13	永山城跡	公共	丸山 2 丁目 2-1	転落防止柵設置	20	6	0721 ～ 0722	立会	近世以降	石垣または根石	-	2011604	工事実施
14	永山布政所跡	民間	丸山 1 丁目 9-49	個人住宅建設	53.60	14	0809 ～ 0812	確認	近世	掘乱坑	陶磁器・瓦・貝殻・銅製品	2011034	工事実施
15	日田条里	民間	大字十二町字前田 557-2	工場建設	392.21	16	0829	確認	近世以降	自然流路	土器片・陶磁器片	2011044	工事実施
16	日田条里	民間	田島 2 丁目 256 番地	個人住宅建設	203.74	13	0901	確認	古墳～古代？	溝・柱穴・土坑・現代の掘乱坑	土師器・青磁・染付・10 円硬貨	2011032	工事実施
17 (7)	花ノ木	公共	大字小迫字花ノ木 866-1 ほか	市道改良	12,270	85	0929	確認	-	-	弥生土器・須恵器・陶磁器	2009636	一部発掘調査
18	元宮	公共	大字求来里 416-2	防火水槽建設	25	12	1004	確認	-	-	-	2011609	工事実施
19	上井手	民間	大字日高字岩崎 585 番	園舎建設	1625	60	1006	確認	古代・中世・近世	遺物包含層	須恵器・土師器・土師質土器・陶器	2011053	工事実施
20	日田条里	公共	淡窓 1 丁目 115-1	体育館建設	2,382	45	1013 ～ 1014	確認	中世	溝	弥生土器・土師器	2010646	工事実施
21	慈眼山	民間	城町 2 丁目 6-8	庭整備	4	3	1128 ～ 1129	確認	-	-	五輪塔 10 点	2011074	工事実施
22	日田条里	民間	城町 1 丁目 416-1	老人ホーム建設	1470	21	1201	確認	中世	遺物包含層	土師質土器・土師器・須恵器	2011042 ③	工事実施
23	城下町	民間	豆田町 127 番地	防災設備設置	-	-	1207 ～ 1220	立会	近世	石列・遺物包含層	陶磁器・瓦	2011077	工事実施
24	鍛冶屋廻り他	公共	大字小迫字水附 5-1 ほか	園場整備	213,303	955	1220 ～ 0227	試掘・確認	弥生～中世	竪穴遺構・溝・土坑・ピット	弥生土器・土師器・須恵器・青磁・石器	2010902	一部発掘調査
25	日田条里	民間	田島 2 丁目 240 番 1 ほか 3 筆	宅地造成	2087	41	1226 ～ 1227	確認	-	-	弥生土器・土師器・須恵器・青磁・陶磁器・瓦	2011070	工事実施
26	銭淵	民間	大字高瀬字越原 229 番地 1	宅地造成	900	71	0120 ～ 0121	確認	-	-	-	2011081	工事実施
27	慈眼山	民間	上城内町 1032 番 2	宅地等造成	523.9	130	0307・0312	確認	中世	-	土師器片・須恵器片	2011092	発掘調査
28	永山城跡	公共	丸山 2 丁目 2-1	駐車場整備	-	18	0307 ～ 0327	確認	不明	石積みの土塁、堀	-	2011631	次年度発掘調査
29	葛原	民間	大字西有田字葛原 1725 番	携帯電話無線基地局建設	130	26	0326	確認	-	-	土器片	2011106	工事実施

※()内の番号は、表 2 の調査一覧番号に対応する。

表 4：照会一覧表

開発面積：単位は㎡

申請日	申請番号	事業主体	申請内容	対象地	開発面積	遺跡名	判断結果
-	2011601	公共	小鹿田焼陶芸館改築工事	大字鶴河内字皿山 138-1			工事実施
4/4	2011001	民間	基地局ボール新設工事	天瀬町馬原字草三郎 5678 番 1	2.25		工事実施
4/6	2011002	民間	住宅増設工事	大字渡里字上瀬井手 78-1	345.7		工事実施
4/8	2011003	民間	集合住宅建設	大字十二町字馬場 99-1 ほか 2 筆	993		工事実施
4/18	2011004	民間	個人住宅建設	大字東有田 41-2、41-5	157	世尊寺	工事実施
4/18	2011005	民間	個人住宅建設	大字田島字畑江 659-5	146.41		工事実施
4/19	2011006	民間	基地局ボール新設工事	大字鶴河内字小倉田 4428 番 1	10	大肥下河内	工事実施
4/19	2011007	民間	商業店舗建設	大字渡里字郷ノ坪 1034 番 1	2466		工事実施
4/20	2011008	民間	基地局ボール新設工事	中津江村柳野字宮田 5013 番 1	5.96		工事実施
4/20	2011009	民間	基地局ボール新設工事	中津江村柳野字松虫 4344 番 8 ほか 1 筆	2.25		工事実施
4/25	2011011	民間	保育園増改築	大字石井字堂園 1244 番地 1	890.58	尾園	H23 予備調査
4/25	2011012	民間	保育園仮設	大字石井字堂園 1227 番地	407.91	尾園	工事実施
4/28	2011010	民間	個人住宅建設	東町 701 番地 2	224.58		工事実施
5/2	2011019	民間	アパート建設	大字十二町字花ノ木 524 番地 1	472.91	日田条里	H23 予備調査
5/16	2011013	民間	個人住宅建設	大字石井字チイノ木 700 番	75.34	尾園	工事実施
5/17	2011014	民間	倉庫建設	豆田町 7-26	26.73	城下町	工事実施
5/17	2011015	民間	個人住宅建設	大字高瀬字宮園 594-3・594-5	57.76	高瀬条里	工事実施
5/18	2011602	公共	消防施設建設	天瀬町桜字フケ 666-1	213.15		工事実施
5/18	2011603	公共	消防施設建設	大山町西大山字貫見 8899-2	203.09		工事実施
5/20	2011016	民間	基地局ボール新設工事	前津江町赤字堂尾 896 番 1	9		工事実施
5/23	2011017	民間	基地局ボール新設工事	大字高瀬字熊ノ坪 3144 番 4	2.25		工事実施
5/23	2011018	民間	基地局ボール新設工事	大字高瀬字銭花 3788 番	2.25	銭花	工事実施
5/31	2011020	民間	共同住宅建築工事	大字十二町字前川 251 番地	1601		工事実施
6/9	2011021	民間	集合住宅建設	大字三和 225, 231 番地	779.05	羽野横穴墓群	工事実施
6/13	2011604	公共	転落防止柵設置工事	丸山 2 丁目 2-1	42	永山城跡	H23 立会調査
6/13	2011022	民間	商業店舗建設	南元町 6-55	132.25	入龍	工事実施
6/13	2011023	民間	商業店舗建設	大字友田 482-2 他 5 筆	2871.31	郷四郎遺跡・日田条里	工事実施
6/14	2011024	民間	共同住宅建築	淡窓 2 丁目 260-9、260-12、260-13	137.37	日田条里	H23 予備調査
6/20	2011025	民間	事務所改築	大字友田字荻鶴 1032 番 1、1032 番 6、1032 番 7、1002 番 3	170.08		工事実施
6/20	2011026	民間	個人住宅建設	大字花月字村廻 1021 番 1、1022 番 2	549		工事実施
6/21	2011027	民間	基地局ボール新設工事	大字鶴河内字桐尾 1915 番地	6		工事実施

6/24	2011028	民間	園舎建設	三本松 2 丁目 744-8、787、787-2、789-6、789-1 の一部	353. 79	日田条里	工事実施
6/28	2011029	民間	自転車置場建設	大字日高字牧原 2462 番地 11、1	25. 2	大部	工事実施
6/30	2011030	民間	運動場造成	大字日高字岩崎 585 番	1625	上井手	工事実施
7/5	2011031	民間	無線基地局新設	大山町西大山字大久保 4730 番 2	4		工事実施
7/11	2011605	公共	下水道本管理設	大字二串	544. 07	二串	工事実施
7/11	2011606	公共	下水道本管理設	大字西有田（上手町）	562. 23	日田条里	工事実施
7/11	2011607	公共	下水道本管理設	大字石井（石井町 2 丁目）	619. 2	長者原	工事実施
7/11	2011608	公共	下水道本管・雨水管新設	大字石井（石井町 2 丁目）	345. 5	長者原	工事実施
7/13	2011032	民間	個人住宅建設	田島 2 丁目 256 番地	203. 74	日田条里	H23 予備調査
7/15	2011033	民間	宅地造成工事	大字庄手字川原端 970 番 8	1548. 88		工事実施
7/19	2011034	民間	個人住宅建設	丸山 1 丁目 9-49	53. 60	永山布政所跡	H23 予備調査
7/21	2011035	民間	車庫増築工事	大字小泊字森の本 389 番 1、390 番 1	32. 63	鍛冶屋廻り	工事実施
7/27	2011036	民間	公民館建設	大字友田字田中 501 番地、504 番地 1	1382	田中	工事実施
8/1	2011037	民間	個人住宅建設	大字二串字棕本 229 番地の一部	93. 01	山ノ神	工事実施
8/2	2011038	民間	アパート建設	三本松 1 丁目 8-1	233. 77		工事実施
8/5	2011609	公共	防火水槽設置	大字求来里 416-2	25. 2	元宮	H23 予備調査
8/5	2011610	公共	防火水槽設置	大字石井 710-1	25. 2	尾園	工事実施
8/5	2011611	公共	防火水槽設置・消防施設建設	大山町東大山 472-12	160	千丈	工事実施
8/8	2011039	民間	個人住宅建設	淡窓 1 丁目 42-8	230. 09	日田条里	工事実施
8/9	2011040	民間	事務所建設	本町 7	80. 30		工事実施
8/9	2011041	民間	個人住宅建設	大字庄手字日ノ隈 591 番 1、591 番 6	504. 46	村前	工事実施
8/10	2011043	民間	集会所建設	大字西有田 2029 番地 1	428. 79		工事実施
8/12	2011044	民間	工場建設	大字十二町字前田 557-2	392. 21	日田条里	H23 予備調査
8/15	2011045	民間	無線基地局電気通信設備新設工事	上津江町川原字程野山 1370 番 2	6		工事実施
8/15	2011046	民間	無線基地局電気通信設備新設工事	前津江町柚木字原 1657 番地	6		工事実施
8/18	2011047	民間	個人住宅建設	大字山田字屋敷廻り 596 番 1	232. 33	岩崎	工事実施
8/23	2011612	公共	下水道本管理設	大字石井（石井町 2 丁目）	511. 8	長者原	工事実施
9/5	2011048	民間	宅地造成工事	大字友田字上ノ鈎 1165 番 1、1165 番 3、1167 番 1、1167 番 4	663. 76		工事実施
9/7	2011049	民間	無線基地局電気通信設備新設工事	大字庄手字藪下 517 番 6	4	村前	工事実施
9/8	2011050	民間	無線基地局電気通信設備新設工事	上城内町 943 番地 6	2	慈眼山	工事実施
9/16	2011051	民間	作業訓練室棟増築	大字三和字坂の辻 1853 番地	148. 6	谷ノ久保	工事実施
9/17	2011052	民間	個人住宅建設	大字日高字迫 483 番地 1	132. 21		工事実施
9/20	2011053	民間	園舎建設	大字日高字岩崎 585 番	1625	上井手	H23 予備調査
9/21	2011054	民間	アパート建設	大字三和字尾坪 1018 番地 2 外	1375		工事実施
9/21	2011055	民間	製材工場施設造成工事	大字石井字逆満 787-3・787-6	2091. 56		工事実施
9/22	2011613	公共	小学校車庫建設	大字夜明 1514	85. 97	祝原	工事実施
9/22	2011056	民間	障害者支援施設増築工事	淡窓 2 丁目 1 番 22 号	17. 91	日田条里	工事実施
9/30	2011057	民間	個人住宅建設	大字日高字小ヶ瀬 2813 番地 1、2814 番 1 の一部	332. 56		工事実施
10/4	2011042	民間	老人ホーム建設	城町 1 丁目 416-1	1470. 82	日田条里	工事実施
10/4	2011058	民間	宅地造成工事	大字友田字徳瀬 186 番 1、187 番 4	984. 50		工事実施
10/4	2011059	民間	薬局新築工事	豆田町 15 番 1	234. 96	城下町	工事実施
10/11	2011060	民間	個人住宅建設	大字北豆田 1733-67	113. 71		工事実施
10/12	2011061	民間	宅地造成工事	大字友田字森ノ木 758 番 1、760 番 1	1509		工事実施
10/12	2011062	民間	共同住宅建設	大字三和字寺田 2662・2663・2664 番地	2422	三和教田	工事実施
10/17	2011063	民間	宅地造成工事	港町 448 番地 1	1554	日田条里	工事実施
11/17	2011063 ②	民間	宅地造成	港町 448 番地 1 外	2099	日田条里	工事実施
10/24	2011614	公共	小学校建替	中津江村栃野			工事実施
10/24	2011615	公共	小学校屋内運動場建替	大字高瀬		高瀬条里	翌年度以降予備調査
10/24	2011616	公共	小学校屋内運動場改修	上城内町		慈眼山	工事実施
10/24	2011617	公共	小学校屋内運動場改修	天瀬町五馬市			工事実施
10/24	2011618	公共	小学校プール建替	淡窓 1 丁目		日田条里	工事実施
10/24	2011619	公共	小学校グラウンド整備	淡窓 1 丁目		日田条里	工事実施
10/24	2011620	公共	小中学校プール建替	大字大肥		大肥	工事実施
10/24	2011621	公共	小中学校グラウンド整備	大字大肥		大肥	工事実施
10/26	2011622	公共	市営団地建替	大字北豆田	2200	湯尻	工事実施
10/26	2011623	公共	下水道管渠布設	大字三和 3623-1 地先～大字花月 1161-1 地先			工事実施
10/26	2011624	公共	下水道管渠布設	大字三和 65-1 地先～大字西有田 54-2 地先		日田条里	工事実施
10/26	2011625	公共	下水道管渠布設	大字小泊 935-5 地先～907-1 地先		尾部田	工事実施
10/26	2011626	公共	下水道管渠布設	大字石井 305-1 地先～1114-1 地先		尾坪	工事実施
10/26	2011627	公共	雨水幹線新設	大字小泊 961-4 地先～962 地先			工事実施
10/31	2011628	公共	簡易水道上水道統合	大字小泊 330-1、587-1	150		工事実施
10/31	2011629	公共	簡易水道整備	大字求来里 589-1 ほか	360	元宮	翌年度以降予備調査
10/31	2011630	公共	都市計画道路改築	中城町・淡窓 1 丁目		日田条里	翌年度以降予備調査
10/31	2011631	公共	公園整備	丸山 2 丁目		永山城跡	詳細未決定
10/31	2011632	公共	公衆トイレ建設	大字鶴河内 166	50		工事実施
10/31	2011633	公共	河川プール管理棟改修	大字小野 4832-6	50		工事実施
10/31	2011634	公共	観光施設トイレ改修	豆田町 129	50	城下町	工事実施
10/31	2011635	公共	宿泊施設整備	大山町西大山 4587	46		工事実施
10/31	2011636	公共	イベント駐車場整備	大山町西大山 4657	3000		工事実施
10/31	2011064	民間	無線基地局建設工事	大字渡里字小見取 1132 番 11	9		工事実施
10/31	2011065	民間	集出荷場新築工事	大山町東大山字口の坪 4042-1	493. 74	小五馬	工事実施
11/2	2011638	公共	市道改良	大字東有田			工事実施
11/2	2011639	公共	市道改良	大山町東大山		小五馬	詳細未決定
11/2	2011640	公共	市道改良	大字高瀬			工事実施

11/2	2011641	公共	市道改良	大字小野			工事实施
11/2	2011642	公共	市道改良	大字大肥		一部、中嶋横穴墓	工事实施
11/2	2011643	公共	市道改良	大字西有田（三ノ宮2丁目）			詳細未決定
11/2	2011644	公共	市道改良	大山町東大山			工事实施
11/2	2011645	公共	市道改良	大字東有田（月出町）			工事实施
11/2	2011646	公共	市道改良	天瀬町馬原			工事实施
11/2	2011647	公共	市道改良	前津江町大野			詳細未決定
11/2	2011648	公共	市道改良	大字友田		片山	詳細未決定
11/2	2011649	公共	市道改良	大字友田		日田条里	詳細未決定
11/2	2011650	公共	市道改良	大字三和		後迫	詳細未決定
11/2	2011651	公共	市道改良	大字鶴河内		大肥下河内	工事实施
11/2	2011652	公共	市道改良	大山町西大山			工事实施
11/2	2011653	公共	市道改良	大字小迫（朝日町）		一部、花ノ木	
11/2	2011654	公共	市道改良	上津江町川原			詳細未決定
11/2	2011655	公共	市道改良	大字石井（石井町1丁目）			工事实施
11/2	2011656	公共	市道改良	城町2丁目			工事实施
11/2	2011657	公共	市道改良	大字内河野		落久保	詳細未決定
11/2	2011658	公共	市道改良	大字鶴河内			工事实施
11/2	2011659	公共	市道改良	大字西有田			工事实施
11/2	2011660	公共	市道改良	天瀬町塚田		西	詳細未決定
11/2	2011661	公共	市道改良	天瀬町赤岩			工事实施
11/2	2011662	公共	市道改良	天瀬町本城		宇土・宮ノ原・天神の木	詳細未決定
11/8	2011637	公共	小学校駐車場造成	天瀬町五馬市 2443-3	1308.04		工事实施
11/8	2011663	公共	小中学校校舎等新增改築	大字大肥 2006-1 ほか	2866	大肥	工事实施
11/8	2011066	民間	事務所新築工事	竹田新町 443 番 8	97.29	入龍	工事实施
11/9	2011067	民間	分譲住宅地造成工事	城町1丁目 421 番 1	1988		工事实施
11/9	2011068	民間	個人住宅建設	吹上町 1182-16	108	日田条里	工事实施
11/14	2011069	民間	住宅修理工事	大字高瀬 720 番地 3			工事实施
11/15	2011070	民間	宅地造成	田島2丁目 240 番 1 ほか 3 筆	2087	日田条里	H23 予備調査
11/17	2011071	民間	事故車両一時預かり所建設	大字渡里字郷ノ坪 1018 番 1	882.45		工事实施
11/17	2011072	民間	個人住宅増築	三本松新町 749-20	19.46	日田条里	工事实施
11/21	2011073	民間	作業場新築工事	大字東有田字新山 1178-13、2594-9	300		工事实施
11/24	2011074	民間	庭整備	城町2丁目 6-8	4	慈眼山	H23 予備調査
11/29	2011042 ③	民間	老人ホーム建設	城町1丁目 416-1	1470	日田条里	H23 予備調査
12/2	2011075	民間	屋外タンク設置工事	大字三和字鮎町 971 番 1 他 4 筆	1424.97	三和教田	工事实施
12/5	2011076	民間	貸店舗新築工事	淡窓1丁目 43-11	47.79	日田条里	工事实施
12/5	2011077	民間	防災設備設置工事	豆田町 127 番地	-	城下町	H23 立会調査
12/6	2011078	民間	事務所新築工事	大字石井字逆渦 787-6	172		工事实施
12/9	2011079	民間	車庫倉庫新築工事	大字東有田字松葉 3158	96.56	森ノ元	工事实施
12/15	2011080	民間	工場建設工事	大字友田 2618 番 2、2524 番 1	1910.51	小谷口横穴墓	工事实施
12/19	2011081	民間	分譲住宅地造成	大字高瀬字越原 229 番地 1	900	銭淵	H23 予備調査
12/22	2011082	民間	個人住宅建設工事	大字三和字西ノ更 2656 番 3	249.81	三和教田	工事实施
12/22	2011083	民間	畜舎建設工事	大字三和字塔の久保 561 番地	194.40		工事实施
12/26	2011664	公共	公園園路整備	大字上野			工事实施
12/26	2011084	民間	貯木場用地造成工事	大字庄手字宮ノ向 827-1、828、830-1、841-5、842-5、水路、里道	4195.76		工事实施
1/6	2011085	民間	集合住宅建設	若宮町 637 番地 13	577	柳ノ本	工事实施
1/12	2011086	民間	個人住宅建設	大字十二町字本村 647 番地 5	307.27	日田条里	工事实施
1/16	2011087	民間	携帯電話無線基地局建設	大字高瀬字ミノ 3877 番 2	130		工事实施
1/16	2011088	民間	携帯電話無線基地局建設	天瀬町塚田字原ノ久保 1310 番 17	130		工事实施
1/16	2011089	民間	携帯電話無線基地局建設	上津江町川原字スス原 3500 番 1	130		工事实施
1/16	2011090	民間	個人住宅建設	大字三和字柳ヶ坪 2647 番 5、2647 番 2 の一部	261.16	三和教田	工事实施
1/16	2011091	民間	マンション建設	中央2丁目 478-1 ほか 7 筆	3500	城下町	工事实施
1/18	2011092	民間	宅地等造成	上城内町 1032 番 2	523.9	慈眼山	H23 予備調査
1/20	2011093	民間	個人住宅建設	大字日高字菅迫 1847 番 1、1847 番 2	852.39	日高	工事实施
1/25	2011094	民間	携帯電話無線基地局建設	上津江町川原字迫尻 4516 番 2	130		工事实施
1/25	2011095	民間	携帯電話無線基地局建設	前津江町赤石字松尾平ノ上 2799 番 1	130		工事实施
1/25	2011096	民間	携帯電話無線基地局建設	大字有田字堂園 392 番 2	130		工事实施
1/25	2011097	民間	携帯電話無線基地局建設	大字大肥字釜戸 1185 番 4	130		工事实施
1/25	2011098	民間	携帯電話無線基地局建設	大字求来里字名里 2020 番 1	70	町野原	工事实施
1/25	2011099	民間	携帯電話無線基地局建設	大山町西大山字中塚 5767 番	70		工事实施
1/25	2011100	民間	携帯電話無線基地局建設	上津江町上野田字年神 1900 番 2	70		工事实施
1/25	2011101	民間	携帯電話無線基地局建設	大字小迫字小迫原 622 番 1	70		工事实施
1/25	2011102	民間	携帯電話無線基地局建設	大字鶴河内字堤平 5057 番 4	70		工事实施
1/25	2011103	民間	携帯電話無線基地局建設	大字石井字小鶴川 927 番 1	70		工事实施
1/25	2011104	民間	携帯電話無線基地局建設	大字求来里字北井峰 1294 番	130		工事实施
1/25	2011105	民間	携帯電話無線基地局建設	天瀬町女子畑字榎木 2385 番 1	130		工事实施
1/25	2011106	民間	携帯電話無線基地局建設	大字西有田字葛原 1725 番	130	葛原	H23 予備調査
1/25	2011107	民間	携帯電話無線基地局建設	大字夜明字猪ノ迫 3660 番 1	130		工事实施
1/25	2011108	民間	携帯電話無線基地局建設	大字花月字小塚ノ上 3041 番	130		工事实施
1/25	2011109	民間	携帯電話無線基地局建設	天瀬町本城字エバ 1946 番 1	130		工事实施
1/25	2011110	民間	携帯電話無線基地局建設	中津江村柵野字岩屋ノ前 5161 番 1	130		工事实施
1/25	2011111	民間	携帯電話無線基地局建設	上津江町川原字クレコノ 4753 番 9	130		工事实施
1/25	2011112	民間	携帯電話無線基地局建設	天瀬町桜字大字久保 841 番 26	70		工事实施
2/6	2011113	民間	携帯電話無線基地局設置	吹上町 1130 番 1	4	日田条里	工事实施
2/6	2011114	民間	分譲地造成	大字渡里字郷ノ坪 1019-6、1020-26	981.08		工事实施
2/9	2011115	民間	無線基地局建設工事	中津江村柵野字下リ 359 番 4	2.25		工事实施
2/9	2011116	民間	無線基地局建設工事	大山町西大山字堂ノ本 3547 番 1	2.25	中大山	工事实施
2/9	2011117	民間	無線基地局建設工事	天瀬町合田字トイノ 1983 番	2.25		工事实施
2/13	2011118	民間	個人住宅建設	大字三和字五反田 672 番 2	577.73		工事实施
2/16	2011119	民間	個人住宅建設	大字渡里字郷ノ坪 1020 番の 7	126.81		工事实施
2/17	2011120	民間	個人住宅建設	大字庄手字笠田 296-17	298.13		工事实施
2/22	2011121	民間	集合住宅建設	大字三和字石ヶ坪 2784 番 1、2785 番 1	1239.06	塚原	工事实施
2/29	2011122	民間	共同住宅建設	大字渡里字片島ノ下 1074 番 1 の一部	1440	日田条里	工事实施

2) 発掘調査・確認調査の概要

1. 城下町遺跡調査概要

ー防災施設建設事業に伴う発掘調査ー

城下町遺跡は、国の伝統的建造物群保存地区に選定されている豆田町や温泉街の隈町を中心とする遺跡である。今回の調査は豆田町の防災拠点となる防災センター建設や防火水槽設置に伴って、豆田町のほぼ中央、御幸通りと住吉町通りに面する部分を対象とし、御幸通りに面した防火水槽設置箇所をA区、北側の住吉町通りに面した防火水槽設置箇所をB区、その東側の防災センター建設予定地をC区として実施した。

まずA区については、前年度の予備調査で確認された玉石列が南北約10m、東西約4mの規模で確認された。この玉石列は旧古賀医院の曳き家移転の対象地となる西側にも展開することが確実であったことから、調査区を拡張してその確認を行った。その結果、1号建物の規模は東西方向が約8mあることが確認され、10m×8m（5間×4間）の規模となることが判明した。また、1号建物跡の北側には2号建物跡、東側には3号建物跡も確認され、それぞれ北側、東側へ広がるとみられる。

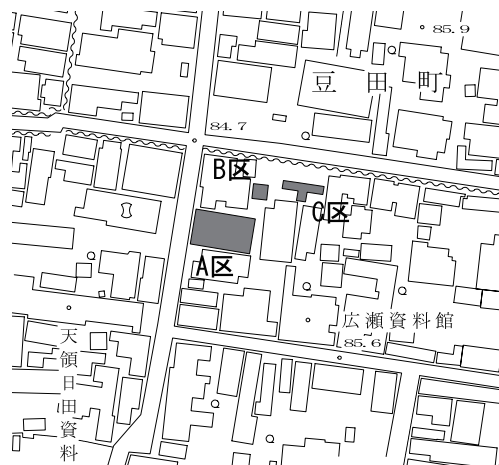
これらの玉石には、被熱したものや、再利用とみられる番号が墨書きされたものなどがあり、今回確認された建物は豆田町で発生した明和9（1772）年の大火以後に建築されたものと考えられる。また、これらの玉石は建物の基礎となるものであるが、この上に直接柱を据えるのではなく、切石を置いて、その上に柱を置く構造である。このような構造は日田の建物基礎には多く見られ、切石の下部は「ひかりつけ」と呼ばれる技法で調整を行い、玉石に据える。

この他、1号建物跡の床下にあたる部分から、木と石で枠組みされた穴蔵が1基、井戸が1基検出された。穴蔵は東西方向を長軸とし、長さ約2.9m、幅1.2m、深さ約40cmを測る。また、この穴蔵は1号建物跡に伴うとみられるが、井戸（径約90cm）については、時期の異なるものと考えられる。

なお、B区では池の跡が確認されたが、明確な時期を示すような遺物は確認できなかった。C区については後世の攪乱により、遺構は確認されなかった。

今回の調査地は、豆田の町年寄・中村家の土地であったことが江戸時代末の絵図に記されていたが、「三丁目 中村」と書かれた有田焼の皿が出土したことで、そのことが裏付けられ、豆田町における一般的な商家よりも規模が大きく、これも町年寄の建物がより大きかったことが判明した。さらに今回の調査は豆田における最初の本格的な発掘調査であり、建物の基礎構造の全体像が判明したことの意味は大きいといえる。なお、今回の調査で確認された遺構については、防火水槽

の設置位置を変更することで保存されることになり、次年度に行う本調査区東側の調査において、遺構への影響が最も少ない位置に設置する予定である。（若杉）



調査位置図 (1/2500)



調査区空中写真 (真上から)



有田焼の皿と穴蔵

2. 史跡^{しせき}ガランドヤ古墳 3次調査概要

―史跡整備に伴う発掘調査―

ガランドヤ古墳群は三隈川左岸の微高地に存在する3基からなる古墳群で、1号墳及び2号墳が彩色壁画を持つ装飾古墳として国の史跡に指定されている。日田市ではガランドヤ古墳群の保護を目的とした保存整備事業に取り組んでおり、昭和59・60年度に石室の確認調査を目的とした1次調査、平成16～20年度に1・2号墳の墳丘構造の把握などを目的とした2次調査を実施している。今回は3次調査にあたり、平成24年度に予定している1号墳の保存施設の実施設計を作成するのに必要となる情報を得る目的で実施した。このため、調査の内容を「①石室入口部の閉塞施設残存状況を確認する。②過去の調査で確認されている列石遺構の展開状況を確認し、墳丘規模決定の判断材料を得る。③1号墳奥壁裏の小マウンドが古墳に伴うものかどうか最終判断を行う。」という3点に絞って実施し、遺跡の破壊を最小限に抑えることとした。

調査は石室入口の羨道部付近に1トレンチ、奥壁裏の小マウンドに2トレンチを設定して実施した。この際、調査に先立って過去の破壊により崩落して長らく石室への入口を塞ぎ、不安定で危険な状態であった羨道部天井石を石室東側へと移設した。調査の結果、1トレンチでは羨道部の構造が明らかとなったものの、近代の削平が著しいため、羨道部の列石は羨道部東側1m程の前庭部端の箇所まで途切れていることが判明した。また、河原石を積んだ閉塞施設の構造が確認されたが、この河原石は前門付近の床まで広がっており、この上部の堆積土下層から中世の青磁が出土したことから、少なくとも中世には閉塞施設が開口していたものと推測される。2トレンチにおいては、現地地表下1.2m程度の範囲まで近年の攪乱を受けていたが、地山上の30cm程度に墳丘土と考えられる版築層が残存していた。しかし、玄室中心から6m程の箇所からは地山まで削平を受けていることが判明したため、墳端は残存していないと判断された。また、攪乱土からは副葬品と想定される耳環が出土しており、この小マウンドが石室内の土などとともにこの箇所に積み直されたものであることが判明した。

以上の調査結果から、「①石室入口部には閉塞施設が残存するものの上部堆積土は古墳に伴うものではない。②削平が著しいため内護列石の展開状況は不明で、小マウンド部分の削平も著しいため墳丘規模決定の新材料は得られない。③奥壁裏の小マウンドの下部には墳丘土が残存するものの、大半が攪乱土である。」という当初の目的に対する成果が得られた。これを受け、石室入口部の堆積土は除去して進入路を確保した。更に、墳丘規模は2次調査で確認された前庭部端が唯一の墳丘規模復元の材料となったことから、墳丘の復元中心位置を再度精査し、玄室を中心に28.7m（以前は25.4m）と推定した。そのほか、小マウンドの上部1m程は除去が可能であるものの、副葬遺物が混入している可能性があるため、整備の際には注意が必要である。今後は、これらの成果を保存施設の実施設計に反映させて整備に着手する予定である。（渡邊）



調査区位置図 (1/2500)



1 トレンチ羨道部発掘調査状況



2 トレンチ発掘調査状況



調査完了後の石室全景

ながやまじょうあと 3. 永山城跡 2 次調査概要

— 重要遺跡確認に伴う発掘調査 —

永山城跡は日田盆地のやや北寄り、花月川右岸に位置する阿蘇溶結凝灰岩の独立丘陵を利用して、慶長 6（1601）年に小川壱岐守光氏によって築かれた城郭である。本丸その他に石垣が残るものの、天守等の建物は現存せず、本丸の曲輪に建物の礎石が点在するのみである。現在は丘陵全体が都市公園「月隈公園」として、市民や観光客などに利用されている。

本遺跡はこれまでに数度の予備調査や本調査が実施されており、石垣その他の遺構が比較的良好な状態で残されていることから、本年度より史跡指定・保存に向けた調査を実施することとなった。

発掘調査は、遺構の遺存状況の確認および城郭構造の再検討を目的として、本丸を中心に調査区（B、C、D、F：模式図参照）を設定した。以下、本年度の主な成果を記す。

建物礎石が点在し、建物痕跡の検出を目的とした B 付近の調査では、既に露出している 4 m 間隔で 2 基並ぶ礎石を軸として調査区を設定したところ、現地表面よりわずか 5 cm 下で、2 m 弱の間隔で並ぶ 3 基の礎石が検出され、軸とした 2 基の礎石と直交することから、本丸御殿の一部である可能性が高いことが判明した。またこれらの規格に合致しない礎石も見られることから建替えの可能性もあることも明らかとなった。

築造当初の石垣および虎口構造の確認を目的とした C・D 付近では、上部の石垣は大部分が後世に積みなおされているものの、下部では慶長期の所作と考えられる大きな矢穴を有する石材や、石材を据えるために地山の凝灰岩を削り込んだ「根切り地業」が確認され、石垣前面からコビキ A 調整瓦が出土していることから、築造当初の石垣の平面プランが現代まで踏襲されていることがわかった。また C の石垣に対し、D には（従前の調査で算木が見つかったことから石垣の存在が窺えるものの）地表面に石垣が見られないことから、面的に石垣を確認するために掘下げを行ったところ、算木が抜かれた状況と石垣の中央部から算木にかけて山状に石垣が残存していることが確認され、石垣前面には裏込め石が大量に流出している状況が認められた。これは名護屋城跡（唐津市）や原城跡（南島原市）などで見られる「破城」の痕跡と類似するものである。

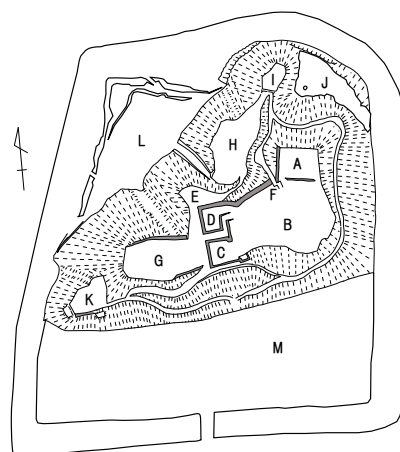
本丸へのもうひとつの出入口である F 付近では、算木を伴う石垣の間の通路で 3 段の階段が検出された。石段から、16 世紀後半～17 世紀初頭と考えられる朝鮮系陶器碗破片が出土しており、築造当初からの搦手口の可能性が高まった。なお現況では F から B へのぼる道の正面には B から A の東屋へ続く極めて新しい石垣が公園整備時に作られており、搦手口のさらなる構造の解明のためには、この部分の平面プランを精査する必要がある。

なお発掘調査のほか、敷地内の石造物調査や石垣カルテの作成、縄張図の作成、史資料調査も合わせて実施した。発掘調査を含め、次年度も引き続き調査を継続する予定である。

（行時・上野）



調査区位置図 (1/2500)



調査地点配置模式図



本丸御殿礎石検出状況



D区石垣南隅の算木・根切り地業検出状況

4. はなのき 花ノ木遺跡 1 次調査概要

— 圃場整備に伴う発掘調査 —

花ノ木遺跡は、二串川の左岸標高約 78 m の沖積面に所在する。今回の発掘調査は、圃場整備事業に伴いおこなわれた。調査は、前年度の確認調査の結果を受けて遺構が破壊される恐れのある範囲で調査をおこなった。調査の結果、弥生時代～奈良時代にかけて複数の時代に跨る遺構が確認され、竪穴建物跡が 10 棟、溝状遺構が 7 条、掘立柱建物跡が 9 棟検出された。その他に土坑が 50 基、ピットが 700 以上検出されている。

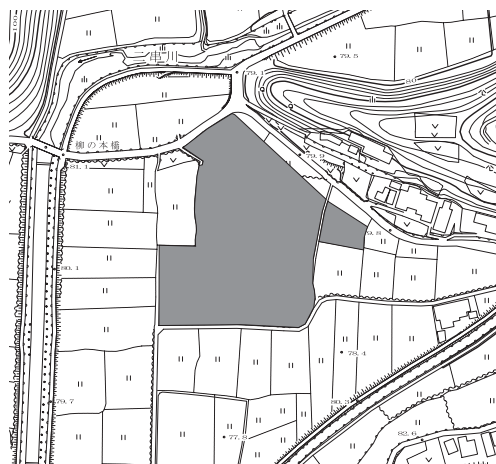
弥生時代後期に比定される遺構として、竪穴建物跡が 3 棟、溝状遺構が 2 条確認されている。竪穴建物跡は全て方形で中央に炉跡と考えられる焼土を確認することが出来た。溝状遺構は、長さ 90 m × 幅約 0.5 m × 深さ約 0.4 m で断面は逆台形を呈し、南東から北西に向かって延び、傾斜などから本来は二串川に向かって流れていたものと考えられる。

古墳時代前期に比定される主な遺構としては、竪穴建物跡が 7 棟、溝状遺構が 2 条確認されている。竪穴建物跡では内 5 棟で炉跡を確認し、1 棟でカマド跡を検出した。炉跡・カマド跡が検出されなかった残りの 1 棟については、小形丸底壺、高坏やミニチュア土器が多数出土していることから祭祀に関連する遺構と考えられる。確認された溝状遺構の内、1 条は竪穴建物群から離れた調査区南側で検出されており、集落の境を意識した水路の可能性を考えることが出来る。また、水口と考えられる張り出し部を持った溝状遺構も確認されており、水田に関連する遺構の可能性を考えることが出来る。

古墳時代後期に比定される遺構は、調査区の北側で溝状遺構が 1 条検出されている。二串川に並行しており長さ 50 m (+α) × 幅約 6.0 m × 深さ約 1.0 m の規模を持つ。この遺構からは、多量の木材が出土しており、今後この遺構の機能を考える上で注目される。

奈良時代の遺構としては掘立柱建物跡が 8 棟と溝状遺構が 1 条確認されている。掘立柱建物跡は、2 間 × 4 間の規模が 1 棟と 2 間 × 2 間が 7 棟検出されている。溝状遺構は長さ 90 m (+α) × 幅約 2.0 m × 深さ約 0.3 m の規模で、調査区の南側で検出され、東西に横断している。一部に水口と考えられる張り出し部分が確認されており、水田に関連する水路の可能性はある。

今回の調査では、宮原台地と吹上原台地（朝日ヶ丘）の谷部において弥生時代～古代の小規模な集落や水田関連の遺構を確認し、この地域における土地利用を推測するための貴重な情報を得ることが出来た。今後は、集落の変遷やその範囲を周辺調査地の成果と併せながら検討していく事が課題である。（上原）



調査区位置図 (1/2500)



遺構集中区空中写真 (真上から)



4号竪穴遺構発掘状況

5. ^{ひらた}平田遺跡調査概要

―圃場整備に伴う発掘調査―

調査地は、二串川右岸の標高約 81 m 付近の沖積面にあり、この調査地より、約 700 m 下流で君迫川、朝日川と合流する地点にある。

調査はまず、耕作土の除去後、表土剥ぎ、遺構検出を行った。遺構検出面は水田基盤土のほぼ直下から 15 cm の深さで確認され、色は茶褐色系を呈していた。なお、検出時における調査区内の標高は 80.3 m 前後である。

調査の結果、竪穴建物跡 5 軒、掘立柱建物跡 5 棟、土坑 5 基、溝状遺構 2 条、ピットが多数確認された。

竪穴建物跡については、まず 1 号竪穴建物跡がカマドを付設しており、屋内土坑（5 号土坑）出土の土師器高坏から 5 世紀前半～中頃と考えられる。このほか、2・3 号竪穴建物跡からは弥生時代後期の甕や古墳時代中期の甕などが出土しており、この 2 時期の切り合いがあるとみられる。

掘立柱建物跡は、倉庫と考えられる 2 間×2 間の総柱建物を含み、北西 - 南東方向にもしくはそれに直交する方向で軸を揃えて配置されていた。この中で最も規模の大きな 2 号掘立柱建物跡は梁行が 3 間、桁行が 4 間あり、規模は約 8.3 m×約 4.8 m を測る。さらにこの建物の南側に隣接する 5 号掘立柱建物跡は梁行が 2 間、桁行が 3 間で規模はやや小ぶりであり、2 号の付属的な建物であった可能性がある。この他、3 号掘立柱建物跡も軸が同じくしていることから、一連の建物群であったと考えられる。なお、これらの建物跡の時期については、1 号竪穴建物跡の柱穴より出土した須恵器坏から 8 世紀代と考えられる。また土坑やピットの中には、10 世紀代の土師器碗が出土したものがある。この他、1 号溝状遺構は調査区西側にある塚を取り巻くように巡っていたが、時期を決定付けるような遺物は出土せず、また、性格等についても不明な点が残る。

以上、今回の調査では弥生時代後期、古墳時代中期、奈良時代、平安時代の遺構が確認されたが、何れの時期においても遺構数は少なかった。弥生時代と古墳時代の遺構については、竪穴建物跡の床面までの深さから、削平を受けて確認できなかったものも多いと考えられる。一方、奈良時代の遺構については、建物群の柱穴の深さから削平されている可能性は低いとみられることから、今回確認された数棟のみが限定的に営まれた可能性がある。また、市内でも出土例の少ない 10 世紀代の遺物が出土したことも、注目できる。（若杉）



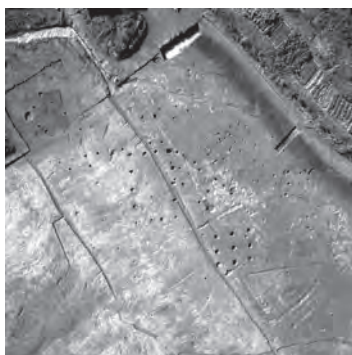
調査区位置図（1/2500）



調査地空中写真



1 号竪穴建物発掘状況



掘立柱建物群配置状況



1 号土坑発掘状況

6. おべた 尾部田遺跡調査概要

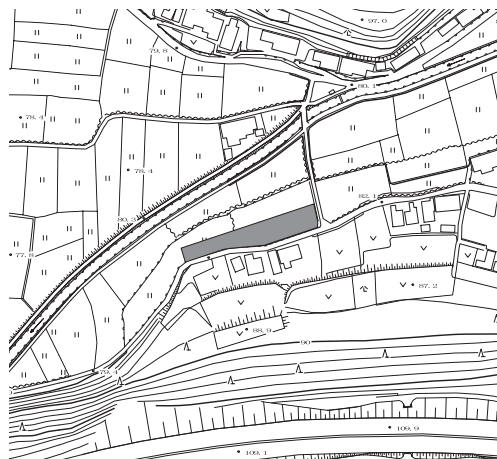
調査地は、朝日川左岸の標高 80 m 付近の沖積面に位置する。調査は約 35 m、幅約 4～5 m の範囲内を対象として実施した。調査はまず、耕作土の除去後、表土剥ぎ、遺構検出を行った。遺構検出面は水田基盤土の 20～30 cm 下で確認され、色は茶褐色系を呈していた。検出時における調査区内の標高は 79 m 前後である。

調査の結果、土坑 3 基、溝状遺構が 2 条で確認された。これらの遺構のうち、2 号土坑からは古代後半と考えられる土師器碗、1 号溝状遺構からは 8 世紀代の土師器高台付坏が出土するなど、時期を特定できる遺物が出土している。

また、検出面中には縄文土器や弥生土器、土師器など多くの遺物が含まれていた。これは、調査区南側からの流れ込みと考えられ、この一帯に集落が存在していたことが想定される。今回の調査区の東側約 250 m の地点では縄文時代後期末から晩期初頭、弥生時代後期終末～古墳時代前期初頭、奈良時代の集落が確認されており、その集落が広がっていたと想定できる。（若杉）

1 号土坑発掘状況

一圃場整備に伴う発掘調査一



調査区位置図 (1/2500)



7. はなのき 花ノ木遺跡 2 次調査概要

調査地は、1 次調査の隣接地で二串川の左岸の沖積面に位置する。今回の調査は、市道渡里山田線の改良工事に伴い確認調査をおこない遺跡の存在が確認される範囲で発掘調査をおこなった。

調査の結果、竪穴建物跡 1 軒、掘立柱建物跡 2 棟、溝状遺構 1 条の他、ピットは約 50 以上が検出された。

竪穴建物跡は、1 次調査で検出された住居の続きであり、1 次調査との成果を合わせると南北 4.0 m × 東西 3.5 m の規模を持ち、出土遺物から古墳時代前期～中期の遺構であると考えられる。掘立柱建物跡は、南北軸に 1 間 × 2 間と東西軸に 1 間 × 2 間の規模を持つ 2 棟が確認されている。

今回の調査地は、1 次調査に比べて遺構密度が低いことが特徴として挙げられる。こうした原因は、後世の削平だけではなく集落の端であった可能性も考えることが出来る。

(上原)

一市道改良工事に伴う発掘調査一



調査区位置図 (1/2500)



調査区周辺空中写真



竪穴遺構発掘状況

ながやまじょうあと
永山城跡調査概要

一 駐車場整備事業に伴う確認調査一

調査地は日田盆地の中央に位置する、通称月隈山と呼ばれる独立丘陵の北側にあたり、かつては堀であった部分を埋め、公園用地として利用している部分にある。

調査は次年度以降に計画されている公園駐車場の整備に先立ち、土塁の石積みの状況や堀の深さ等を確認する目的で行った。

土塁の石積みについては、草刈、土砂の除去を行い、全体の清掃を行った。その結果、後世の積み直しが数回あったとみられるものの、20～30 cm大のものを中心として河原石を積んでいる状況が確認できた。また、東側においては凝灰岩の岩盤を加工して、その上部に河原石を積み上げている部分もあった。

次に堀については、石積みの正面に9 m×2 mのトレンチを設定し、機械による掘り下げを行った。その結果、上層部は攪乱を受けていたものの、現地表面より約90 cm下部で堀の掘り込み面が確認でき、この部分まで土塁の石積みもみられた。また、この石積みの最下部においては「根きり」と呼ばれる、石を据えるために地山を掘りくぼめた状況が確認された。

この他、堀の内部には土留めに利用されたとみられる加工木が確認された。なお、作業の安全上、トレンチ幅を広く設定できず、また河原石が大量に流れ込んでいたことから、堀の肩から約1.1 mまでの深さまでしか掘り下げられず、底面の確認までには至らなかった。

次年度は今回の結果をもとに、本調査を行う予定にしている。(若杉)

※確認調査立会一覧表[表3]番号28に該当する。



調査区位置図 (1/2500)



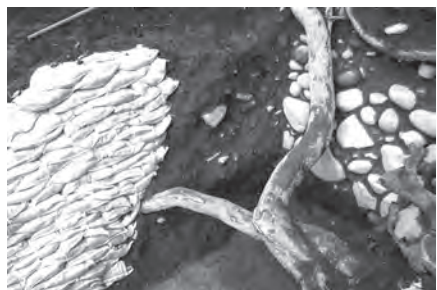
調査前の状況 (北から)



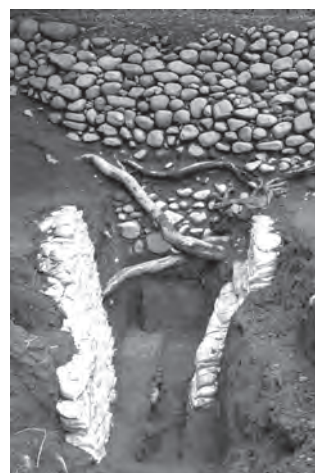
石積み及び凝灰岩岩盤検出状況 (北から)



石積み検出状況 (北から)



東壁土層堆積状況及び根きり状況



トレンチ発掘状況 (北から)

Ⅱ 平成23年度の発掘調査報告

ちくごきどうまめだえきてんしゃだいあと
筑後軌道豆田駅転車台跡調査報告

ー遺跡内容確認に伴う発掘調査ー

はじめに

※発掘調査一覧表 [表2] 番号 8

筑後軌道は、明治36年に開業したその前身である吉井馬車鉄道が、吉井 - 上田主丸間を結ぶ客車1両での運行に始まる。その後、運行区間も延伸され、大正5年には筑後軌道(株)の運営によって久留米～日田豆田を結ぶ本線路線が開通した。完成路線には39駅が設置され、このうち日田市には西から長溪、加加鶴、川下、発電所前、石井、徳瀬、隈、そして終点の豆田の各停留所や乗降場が設けられた。このことにより、これまでの筑後川を利用した河川交通から鉄道交通へと大きな変換を遂げることになり、日田市の近代化に大きな役割を果たすことになるが、昭和3年の久大西線の開通によって、翌年には廃止となった。

このような歴史をもつ筑後軌道に、日田市民の有志でつくる「筑後軌道調査会(代表 熊谷洋一郎)」は長年にわたって調査・研究を進めてきた。今回発掘調査を行った豆田駅転車台の場所については、土地所有者である永田靖彦氏が平成元年(1989)の店舗改装の際にその存在を確認しており、同調査会によって精査の必要が叫ばれ、日田市教育委員会が同会等とともに発掘調査を実施することになった。

1. 豆田駅転車台跡の位置(第1図)

筑後軌道豆田駅転車台は、日田市丸の内町34番地に所在する。この場所は、豆田町に残る重要文化財草野家住宅のすぐ裏手にあたる。転車台は、すぐ北と西に江戸時代に造られた豆田町を貫流する玉石積みの水路が残り、地盤面が少し高い場所に設置されている。(第2図)

筑後軌道調査会の調査によれば、転車台は当時の豆田駅構内の最も北側に付設されていた。南北約120メートルの駅構内には、北の転車台から南に格納車庫・給水棟、貨物倉庫、豆田駅舎などが配置されていたことが判明しており、駅舎の古写真も残っている。

また、付近の明治期の字図には筑後軌道道が鉄道用地と記され、その路線は第1図のとおり、転車台から城内川まで延び、その後は現在の県道丸山五和線の道路敷きを南へと真っ直ぐに延びていたことがわかっている。



第1図 筑後軌道豆田駅転車台跡の調査区位置図

2. 発掘調査の内容（第2・3図）

発掘調査はナガタ電気敷地内の11㎡を対象に7月19日から開始し、9月6日まで行い、調査期間中は所有者の好意により、長期間の現地公開を行うことが出来た。

調査では現在舗装されているコンクリート下、約50cmの場所で転車台跡を確認した。転車台跡は、筑後軌道の廃線に伴って壁などは壊され、基礎部分のみが残存していた。廃線後は、住宅が建てられていたという所有者の証言もあり、土層観察（写真6）によれば転車台の基礎部分上面まで埋め土で覆われていた。また、基盤は黄色の砂層であった。

以下、調査内容を記す。

基礎部分（写真1・4・5）

今回の発掘調査によって確認されたのは、転車台の土台にあたる基礎部分である。

調査では全掘していないため、主に基礎部分の内面しか把握できず、基礎造りなどは不明であるが、基礎部分の掘り込みライン（写真5）は確認することができた。基礎部分の平面形態は円形をなし、中央には橋梁を支えるための軸受けが残っていた。壁は全て失われていた。

軸受け（写真7）

直径約1.8mのほぼ円形に巡るコンクリート造りの高さ10cmほどのマウンド状の高まり中央には、40cm四方の軸受け痕跡が認められた。この方形の軸受けには、四隅に25cm間隔に4本の鉄製のボルトが打ち付けられていた。このボルトは、回転軸受けを固定するためのものである。鉄製ボルトは直径2cm、長さ8cmで、いずれも曲げられた状態で確認できた。

レール（写真8）

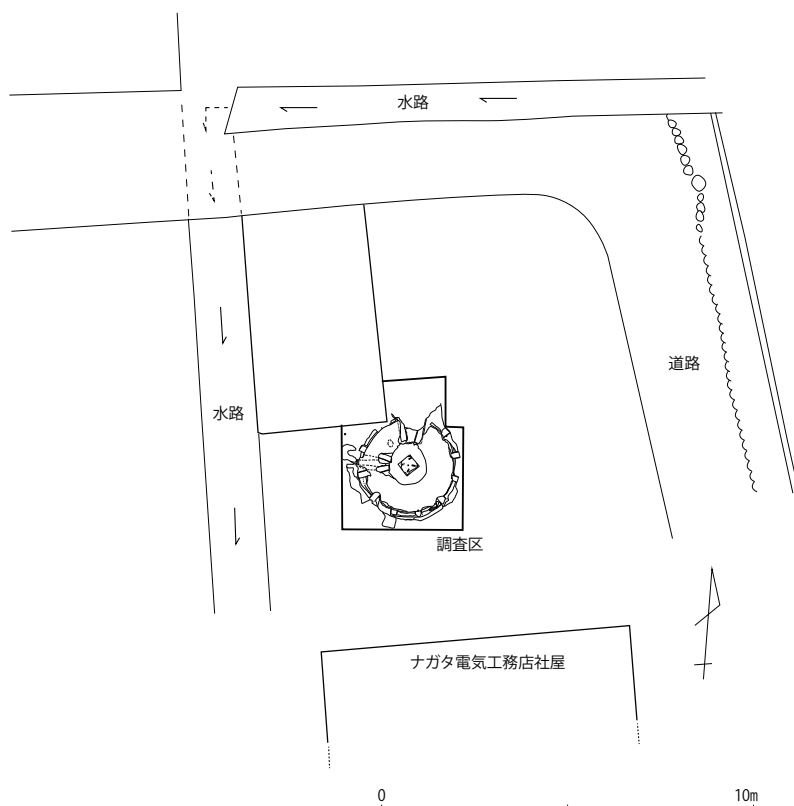
基礎部分の周囲には、橋梁の両端下に付随した車輪を受けるレールの痕跡が確認できた。レールは転車台を壊すときに除去されたと考えられ、レールの鉄錆痕跡や枕木を留めた犬釘の確認から、その存在を知ることができた。（第1表）レール痕跡は、最大幅7cmを測る。軸受け中心部からレール痕跡までの距離は1.25～1.33cmを測ることから、直径約2.6mの円形に巡るレールが敷設されていたものと推定される。

枕木（写真8）

レール固定用の12本の枕木痕跡を確認でき、枕木は軸受け中心部から放射線状に配置されている（第1図）。枕木は腐食し、一部繊維状に残っていた程度である。枕木痕跡から知りえる大きさは、長さが83～87cm、幅が15～16cm、高さが10～13cmである（第2表）。

配水管（写真8・9）

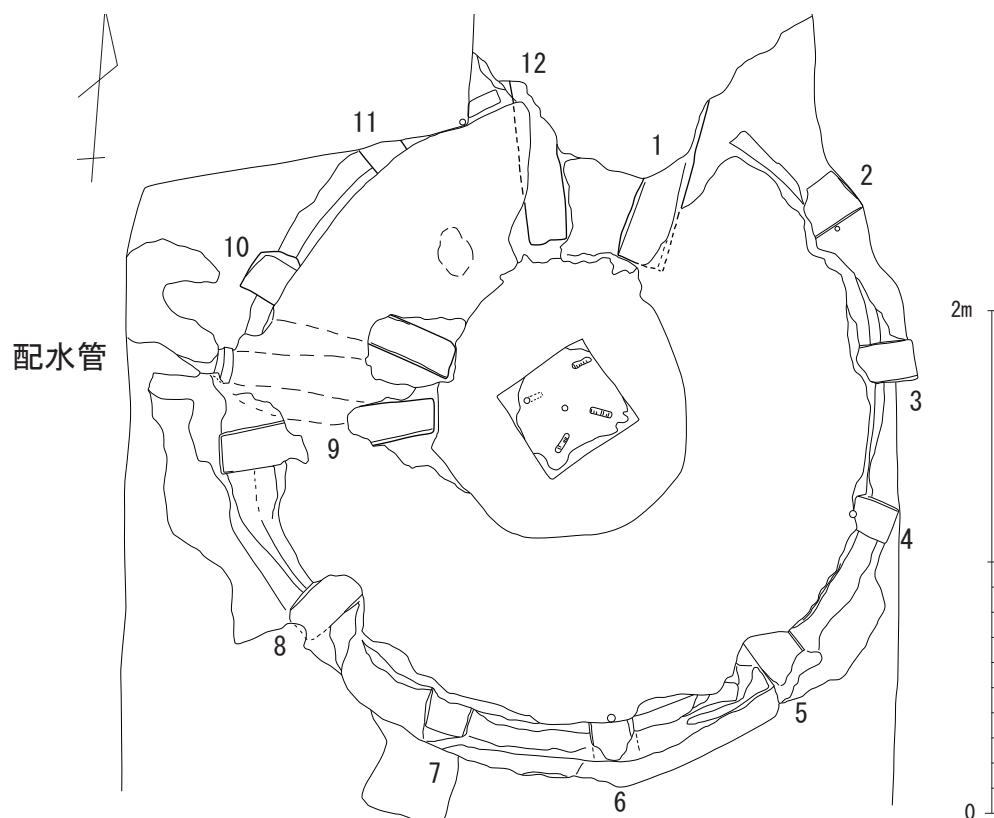
転車台の西側に土管を用いた排水施設が付設されている。基礎部分の標高は84.674m前後に仕上げられており、配水管近くではその－16cmに整えられている。土管の直径は口部で15cmを測る。この配水管はほぼ西に2.5mのびて、南北方向に流れている水路に排水されるように設計されている。配水管の両端は破損しているが、地中下部分は現存しているようである。



第2図 筑後軌道豆田駅転車台跡の調査区位置図（1/200）



写真1 転車台発掘写真（南から）



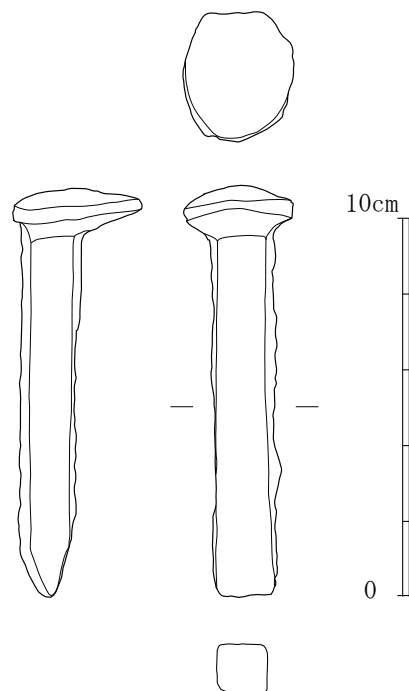
第3図 転車台跡遺構実測図（1/30）

3. 出土遺物

今回の発掘調査では、転車台の時期に関する遺物はほとんど出土していないが、枕木痕跡などから計9本の犬釘が出土した(写真2)。各犬釘の寸法は第1表にまとめているが、長いもので10.9 cm(第4図)、短いもので8.7 cmを測る。類似した寸法も見受けられるが、いずれも微妙に大きさが異なる。枕木痕跡にも2本の犬釘がそのまま残っており、これら9本の犬釘もレールを止めるために使われていたものであろう。



写真2 犬釘の写真



第4図 犬釘5の実測図(1/2)

4. まとめ

今回の調査では、筑後軌道の終点である豆田駅転車台跡の実態を把握することができた。この転車台跡は概ね次のような工程により構築されたと考えられる。まず砂質地盤を掘り込み、軸受けの土台となるコンクリート基礎を造り、同時に排水土管を設置する。その後、枕木12本を放射線状に配置し、円形レールを犬釘で固定し、モルタルで内部底を仕上げて基礎部分とする。その後、円形に壁を造り、回転軸受けや回転桁などを取り付けたと仮定できる。また調査結果をもとにすれば、転車台の壁内面の直径は2.8 mと推定される。

さて、転車台の発掘調査は、東京都旧汐留貨物駅跡(汐留遺跡)での機関車用転車台や貨車用転車台〔注1〕、JR奈良駅構内での機関車用転車台〔注2〕などで行われている。しかしながら、筑後軌道のような軽便鉄道の転車台の発掘調査例は余りなく、三重県の都市間軽便鉄道である三岐鉄道北勢線の終点阿下喜駅では掘り起こされた転車台の復元がなされている。今回の豆田駅転車台については調査後埋め戻しを行ったが、土地所有者や筑後軌道調査会によって跡地にはタイル表示や説明板が設置された。(写真10)

また、筑後軌道については、平成23年度には久留米市立草野歴史資料館では『なつかしの風景 筑後の軌道』展、日田天領資料館では『なつかしの風景 筑後軌道展』が開催されるなど、最新の資料や解説展示が行われた〔注3〕。こうした展示会にあわせて筑後軌道調査会も市内に残る豆田町転車台跡をはじめとする亀山町の軌道敷跡〔注4〕、高井町の逆谷橋・長溪駅などの調査を行い、筑後軌道に関する多くの資料の蓄積が進められており、今後、さらに筑後軌道の歴史的事実が明らかになっていくと思われる。

明治26年に発行された地元紙『日田新報』第56号には、「日田鉄道」という見出しが掲載されており、宇之島港又は中津港から耶馬溪、日田、吉井、田主丸、久留米を経て若津港に通ずる鉄道付設を伝えている。この経緯については、宇之島の有志などが豆田町の掛屋千原藤一郎に話を持ちかけ、草野忠右衛門、樋口節蔵ら7名で設立委員会

が発足している。この計画路線は筑後軌道と同一のもので、その後日田鉄道は鎮西鉄道と名が変わったが計画は進まず、明治31年には日田 - 久留米間の西州鉄道へと受け継がれ、吉井馬車鉄道へと移行する歴史を有する。明治中頃の「日田鉄道」という周防灘から筑紫灘を結ぶ最長線としての九州横断鉄道開通の夢は叶わなかったが、当時の関係者の思いが豆田駅転車台跡に残されており、近代日田の歴史を語る上で欠かせない産業遺産の一つといえよう。

最後に、発掘調査では永田靖彦氏のほか、熊谷洋一郎・桑野洋輔（筑後軌道調査会）、樋口一成（久留米市立草野歴史資料館）、行時志郎（日田市立博物館）、田中常雄（日田考古学同好会）、森山敬一郎・財津真弓氏をはじめとする多くの方々のご協力をいただいた。

注1) 佐藤 攻ほか 『汐留遺跡 - 旧汐留貨物駅跡地内の調査 -』東京都埋蔵文化財センター 1997 年

注2) 『榎原考古学研究所年報 32 平成 17 年度 (2005)』奈良県立榎原考古学研究所 2007 年

注3) 樋口一成 『なつかしの風景 筑後の軌道』久留米市立草野歴史資料館 2011 年

注4) 平成 22 年度に大分県教育委員会が市内亀山町の県道丸山五和線工事に先立つ調査において、軌道敷跡を確認している。

(参考文献)

針谷武志 「遅れた鉄道の敷設」『中津日田玖珠の歴史』郷土出版社 2007 年

大竹憲治ほか 『季刊考古学』第 72 号 雄山閣 2000 年

第1表 出土犬釘一覧表（番号5だけは錆を落とした状態。）写真は、写真2に該当）

番号	写 真	全体		頭		重さ	出土位置	備 考
		長さ	厚み	長さ	幅			
1	上段左	9.4	1.2×1.3	3.0	2.6	82.7	不明	木質が残る
2	上段左から2番目	9.8	1.2×1.3	2.8	2.6	88.0	不明	
3	上段左から3番目	9.2	1.4×1.3	2.6	2.2	85.1	不明	
4	上段左から4番目	9.1	1.3×1.2	2.4	2.0	68.5	不明	
5	上段左から5番目	10.9	1.4×1.5	3.4	2.8	152.0	不明	
6	下段左	9.4	1.2×1.3	2.8	2.2	66.9	不明	木質が残る
7	下段左から2番目	9.2	1.2×1.2	3.2	2.6	79.3	不明	
8	下段左から3番目	8.7	1.1×1.1	2.9	2.2	90.6	不明	大きく変形している
9	下段左から4番目	9.0	1.2×1.1	2.6	2.3	71.0	不明	

第2表 枕木痕跡一覧表（番号は、第3図の番号に該当する）

番号	長さ	幅	高さ	備 考
1	69.0+α	16.0	11.0	
2	—	16.0	12.0	
3	—	15.0	10.0	
4	—	16.0	11.0	枕木とレールを留める犬釘が現存している。
5	94.0+α	16.0	13.0	
6	—	15.0	11.0	枕木とレールを留める犬釘が現存している。
7	82.0	15.5	13.0	
8	80.0	15.5	11.0	
9	83.0	15.0	14.5	
10	87.0	15.0	13.0	
11	—	15.0	—	
12	62.0+α	16.0	13.0	



写真3 発掘調査風景



写真4 転車台跡の確認



写真5 転車台跡の掘り込み面の確認



写真6 転車台跡の土層断面



写真7 軸受け(中央)と排水施設(奥)

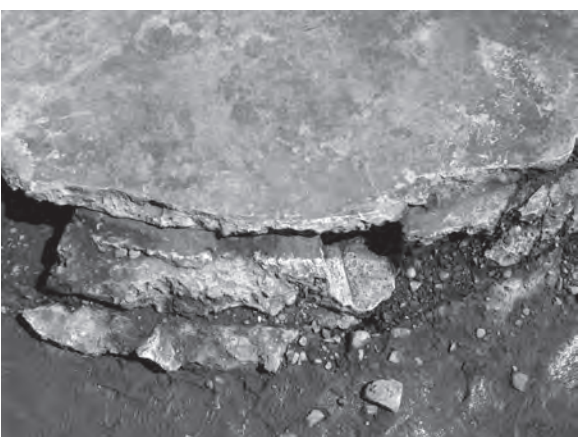


写真8 レール痕跡と枕木痕跡



写真9 排水場所(白丸が土管)



写真10 埋め戻し後のタイル表示と説明版

Ⅲ 平成23年度の埋蔵文化財普及・啓発事業

1) 埋蔵文化財センター運営事業

平成15年度より普及啓発事業を中心とした埋蔵文化財センター運営事業を継続して行っており、今年度は発掘調査速報展及び市民を対象とした考古学講座、体験教室、特別展示会などを実施した。

1. 平成22年度埋蔵文化財発掘調査速報展（9月18日～11月4日）

平成22年度に市内で行った発掘調査の成果をいち早く公開するため遺物・写真パネルの展示を行い、市内外から250人の来館者があった。

○埋蔵文化財センター見学者数

月	総見学者数	団体	個人	備考
4月	31	28	3	
5月	113	103	10	
6月	61	38	23	
7月	8	0	8	
8月	34	11	23	
9月	145	109	36	速報展（9/18～11/4）見学者数 250名
10月	106	47	59	
11月	14	0	14	
12月	6	0	6	
1月	25	22	3	
2月	4	0	4	
3月	10	0	10	
計	556	357	199	



速報展見学風景



考古学講座第1講風景

【主な来訪団体】

大鶴地区老人クラブ（28名：4月）
市立桂林小学校（47名：5月）
田島地区老人クラブ（28名：5月）
光岡地区老人クラブ（28名：5月）
市立朝日小学校（10名：6月）
のぞみがおか生楽館（28名：6月）
日隈公民館なっとくゼミナール（5名：8月）
市立大明中学校（22名：9月）
高瀬公民館（20名：10月）
銭湊町レディース会（15名：10月）
韓国の研究者（22名：1月）

2. 考古学講座「タイムトリップひた vol. 9」

市民を対象に、「考古学」や「埋蔵文化財」を通して「地域の歴史」に対する関心を深めてもらうために市内外から講師を招き、全5回の講座を実施した。

月日	回数	内容	講師	受講人数
0918	第1講	古代の日田 ～その歴史と考古学	別府大学名誉教授 後藤 宗俊氏	48
		大波羅遺跡5次調査概要報告	文化財保護課職員	
1016	第2講	筑後国御原郡の官衙	小郡市教育委員会文化財課 柏原 孝俊氏	41
1120	第3講	大宰府と西海道支配 (九州歴史資料館、大宰府政 庁跡、九州国立博物館見学)	九州歴史資料館 小田 和利氏	36
1211	第4講	遥かなり古代大宰府への道	筑紫野市教育委員会 小鹿野 亮氏	28
0129	第5講	日本における都城制の 受容と変容	九州大学教授 岩永 省三氏	31



第3講バスツアー現地見学

※申し込み人数：62人

3. 体験教室

楽しみながら先人の知恵や技に触れ、埋蔵文化財についての理解を深めてもらうための機会を提供する目的から、「火熾し体験・発掘体験・整理作業見学・展示見学・考古の話」などの体験メニューを各団体からの申込みにより実施した。

月日	団 体 名	内 容	場 所	参加人数
0426	大鶴地区老人クラブ	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	28
0506	桂林小学校	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	45
0511	田島地区老人クラブ	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	28
0526	光岡地区老人クラブ	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	28
0603	朝日小学校	展示見学、考古の話、火熾し体験	埋蔵文化財センター	10
0617	のぞみがおか生楽館（小郡市）	展示見学	埋蔵文化財センター	28
0818	日隈公民館	展示見学	埋蔵文化財センター	5
0929	大明中学校	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	22
1023	光岡ふれあいまつり	文化財展、火熾し体験、勾玉づくり	光岡小学校	70
1027	銭淵レディース会	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	15
0218	三花公民館チャレンジクラブ	火熾し体験	三花公民館	20



光岡ふれあいまつり(火熾し体験)



光岡ふれあいまつり(勾玉作り)



光岡ふれあいまつり(文化財展)



桂林小学校(整理作業見学)



朝日小学校(火熾し体験)



日隈公民館(展示見学)



大明中学校(展示見学)



銭淵レディース会(展示見学)



三花公民館(火熾し体験)

2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動

遺跡の調査成果を広く市民に公開するため、文化財指定記念展示、現地見学会、講師の派遣、調査報告書の作成等を実施した。

1. 展示会

「小野川の阿蘇4火砕流と埋没樹木が語る9万年の世界」展

会期：8月6日～8月27日（延べ22日間）

会場：パトリア日田ギャラリー

来場者数：3,126名

展示内容：「小野川の阿蘇4火砕流堆積物及び埋没樹木群」の国の天然記念物指定を記念し、特別展示を実施した。指定を受けた地区から出土した埋没樹木のほか他の遺跡で発見された埋没樹木など約80点を展示し、市内外住民に広く周知した。また、展示初日は、地元の小野小学校児童を招待しオープニング行事を行い、期間中多くの来場者が訪れた。



2. 現地説明会

①永山城跡2次調査

開催日：8月27日・28日

場 所：永山城跡（月隈公園）

参加者：134人

内 容：平成23年度より重要遺跡の確認を目的として発掘調査を行っている永山城跡の今回の調査成果を広く周知するため、現地説明会を行った。発掘調査の委託先である別府大学とともに解説を行い、地元住民や市内外から延べ134名が参加した。



②城下町遺跡

開催日：9月23日

場 所：豆田町 123-1（旧古賀病院跡）

参加者：122人

内 容：豆田町において初めての本格的な発掘調査となった城下町遺跡の調査成果を広く周知する為現地説明会を行った。説明会では、建物基礎となっていた玉石列などの解説を行い、地元豆田町の住民を中心に、122名の参加があった。



③史跡ガランドヤ古墳

開催日：10月16日

場 所：史跡ガランドヤ古墳（大字石井字西ノ園）

参加者：114人

内 容：史跡の整備に伴う内容確認のための発掘調査を行っている史跡ガランドヤ古墳の調査成果や整備の現状と今後の取り組みを広く周知するため、現地説明会を行った。地元住民や市内外から延べ114名が参加した。



川埋蔵文化財
普及・啓発事業

3. バスツアー

九州国立博物館見学

開催日：11月20日、23日、24日

場 所：九州国立博物館

参加者：97人（延べ人数）

内 容：平成23年9月21日付けで国の天然記念物の指定を受けた「小野川の阿蘇4火砕流堆積物及び埋没樹木群」の埋没樹木と国の重要文化財の「金銀錯嵌珠龍文鉄鏡」が九州国立博物館で一般公開されたため、見学バスツアーを行った。3日間で延べ97名の参加があり、博物館職員の解説つきで見学していただいた。



4. 講師派遣・講師依頼

平成 23 年度は考古学講座に伴う依頼は 5 件、派遣は 16 件であった。

月日	区分	派遣・依頼先	内容	講師
5/27	派遣	朝日小学校	朝日天神山古墳見学、遺跡のはなし	行時、井上
8/24	派遣	大明小学校	火熾し体験	上原、井上
8/30	派遣	三芳小学校	法恩寺山古墳見学	渡邊、井上
8/31	派遣	竹田地区老人クラブ	出張講話、市内文化財の見学	行時、井上
9/8	派遣	五馬市小学校	宇土遺跡見学	行時、井上
3/28	派遣	日隈公民館	小野埋没林展見学	行時、井上
7/6	依頼	別府大学	考古学講座第1講『古代の日田～その歴史と考古学』	別府大学名誉教授 後藤 宗俊氏
7/10	派遣	桂林公民館	ガランドヤ古墳・穴観音古墳見学	行時、井上
9/29	派遣	高瀬公民館	高瀬地区の文化財について、現地見学	若杉、井上
10/12	依頼	小郡市教育委員会	考古学講座第2講『筑後国御原郡の官衙』	小郡市教育委員会 柏原 孝俊氏
10/24	派遣	伊藤塾	西都原古墳について	若杉
1/21	派遣	石井小学校	ガランドヤ古墳見学	渡邊、井上
1/24	依頼 派遣	福岡県教育委員会	考古学講座第3講『大宰府と西海道支配』 九州歴史資料館、太宰府政庁跡、九州国立歴史博物館見学	九州歴史資料館 小田 和利氏 行時、渡邊、武内、井上
1/27	派遣	一般参加者	九州国立博物館見学	財津、土居、若杉、井上
1/28	派遣	一般参加者	九州国立博物館見学	大谷、井上
4/21	派遣	桂林公民館	地区の遺跡と歴史について	行時、井上
4/25	依頼	筑紫野市教育委員会	考古学講座第4講『遥かなり古代大宰府への道』	筑紫野市教育委員会 小鹿野 亮氏
4/30	派遣	光岡公民館	吹上遺跡、小迫辻原遺跡見学	行時、井上
4/15	派遣	韓国の研究者	吹上遺跡、小迫辻原遺跡、ガランドヤ古墳見学	渡邊
5/8	依頼	九州大学	考古学講座第5講『日本における都城制の受容と変容』	九州大学教授 岩永 省三氏



朝日小学校
(朝日天神山古墳現地見学)



大明小学校 (火熾し体験)



三芳小学校 (法恩寺山古墳群見学)



五馬市小学校 (宇土遺跡現地見学)



竹田地区老人クラブ (出張講話)



石井小学校
(ガランドヤ古墳現地見学)

3) 新指定の文化財

1. 市有形文化財 『伝姫塚古墳出土鉄剣』

本件は日田市大字高瀬字塚脇に所在する日田市史跡の姫塚古墳より出土したと伝えられる鉄剣で、蛇のように身を蛇行させていることから通称蛇行剣といわれるものである。その形態から実用的なものではなく、意図的に曲げられた祭祀用のものと考えられる。

南部中学校・日田市博物館を経て、現在は日田市埋蔵文化財センターに保管されている。

寸法は現存長 38.8cm、最大幅 2.6 cm、最大厚 0.5 cm を測り（先端部及び基部は欠損）、年代は古墳時代中期（5 世紀）のものと考えられ、他の出土例の時期とほぼ変わりはない。

蛇行剣については、全国で 76 件の出土が報告されており、その多くは畿内及びその周辺と九州南部に見られる。大分県での出土例はこの剣のみで、希少的価値があり、この鉄剣が出土されたと伝えられる姫塚古墳とともに、日田の古墳時代の歴史を語る上でも、学術的にも重要な資料であることから、平成 23 年 5 月 31 日に市の有形文化財に指定された。



2. 国天然記念物 『小野川の阿蘇 4 火砕流堆積物及び埋没樹木群』

阿蘇火山は、世界有数のカルデラ火山であり、なかでも 9 万年前の阿蘇 4 火砕流の流出は、阿蘇火山最大の噴火である。県教委が行った平成 20 年度の調査では、小野川下小竹付近において、阿蘇 4 火砕流堆積物と火砕流になぎ倒されて取り込まれた樹木化石が良好に産出することが確認された。

埋没樹木はトウヒ属やヒノキ科、スギを主体とする針葉樹が優先し、樹木は二次堆積による「異地性化石」であり、大きく変形している。樹木化石の年輪から、火砕流の発生時期は晩秋から晩春にかけての時期と推定される。

このように、火砕流の堆積の詳細と噴火後の泥流や土石流の発生という阿蘇 4 火砕流堆積物の詳細が観察され、火山国における最大級の火山噴火について多くの知見が得られたことから、平成 23 年 9 月 21 日に日田市で初めての国の天然記念物に指定された。



4) 埋蔵文化財関係の保存修理

重要文化財大分県吹上遺跡出土品の保存修理

事業は、紀元前2世紀から1世紀頃にあたる弥生時代中期後半の日田地方の有力者の墳墓群の副葬品である重要文化財「大分県吹上遺跡出土品（平成22年6月29日指定）」577点の修理を10年に亘って計画的に行うものである。初年度である平成23年度は4号甕棺墓出土鉄剣と2号甕棺墓出土銅戈計2点の保存修理を実施した。

4号甕棺墓出土鉄剣には鞘部と想定される木質が残存しているものの、表面の剥落が著しく、鞘の形状をとどめている部分の劣化が著しい状態で、また剣身が鍛造であるため、錆の進行による層状の剥離が著しく、破損の危険が強い状態であった。2号甕棺墓出土銅戈は棺外副葬で土に常に接した状態であったためか非常に脆く、刃部の錆化と破損が進行した状態であった。そこで、国庫補助事業及び公益財団法人住友財団の助成（鉄剣のみ）を受けて修理作業を行った。作業には(株)東都文化財保存研究所があたった。

鉄剣は影響を避けるため脱塩処理は施さず、アクリル樹脂を含浸させることで木質の固着と鉄の強化を図った。さらに、層状剥離が著しく空隙が発生している箇所については、エポキシ樹脂を充填させることとした。全体的な鉄剣の風合いを損なわないために、彩色は樹脂部分に留め樹脂の光沢を抑えた。銅戈は全体の脆さを補うためアクリル樹脂含浸を行って強度を増し、さらに脆さの著しい刃部付近の接合箇所には風合いを損ねない程度にアクリル樹脂を増し塗りして補強を図った。

その後、保管のために専用の安定化台座（収納ケース）である桐箱を作成し、鉄剣・銅戈の形状に併せて収納できるものとした。以上の作業の結果、従来の不安定な状態は大幅に改善された。今後は安定化の状態を見ながら、展示等への活用を図っていく予定である。



4号甕棺墓出土鉄剣（住友財団助成）



2号甕棺墓出土

5) その他（掲載申請・資料借用、貸出・受領図書・刊行物など）

今年度、埋蔵文化財関連資料の掲載依頼は4件、貸出は7件であった。なお、資料閲覧は本年度はなかった。

1、掲載申請

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
0511	申請	平成22年度刊行報告書及び平成21年度日田市埋蔵文化財年報データ	日田インターネット協議会	ホームページ掲載
0914	申請	平成22年8月28日実施 永山城跡現地説明会の写真	フリーマガジンスマイル	フリーマガジン掲載
1108	申請	吹上遺跡4号甕棺出土状況写真、同出土品集合写真、同出土銅戈、同出土土輪集合写真、同勾玉 計5カット	島根県立古代出雲歴史博物館	企画展図録掲載
0223	申請	日田市文化財マップ掲載文化財写真11カット及び説明文	社団法人 日田市観光協会	ホームページ掲載

2、資料貸出

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
0603	貸出	火熾し道具一式	個人	火起し体験内容発表
0715	貸出	ガランドヤ古墳写真パネル3枚	個人	展示
0801	貸出	チャンチンモドキ種子一式、ドングリ類一式、モモ種子一式、写真	日田市立博物館	展示
0829	貸出	K C V 特別番組DVD「阿蘇4火砕流と日田の成り立ち」	日田市立日隈小学校	学習のため
1116	貸出	吹上遺跡出土品4号甕棺墓出土銅戈1点、硬玉勾玉1点、ゴホウラ貝輪9点、ガラス管玉229点	島根県立古代出雲歴史博物館	展示
1128	貸出	小迫辻原遺跡1・2号方形環濠建物の空中写真、小迫辻原遺跡調査区全体遺構配置図、小迫辻原遺跡復元模型写真 計3点	佐賀県立名護屋城博物館	展示
0314	貸出	宇土遺跡 投弾 2点	大分県立歴史博物館	展示

3、図書の収蔵

①平成 23 年度に各団体から寄贈を受けた図書

総数 1126 冊。(内訳：文化財機関 78 冊、大学 72 冊、博物館 189 冊、都道府県教育委員会 166 冊、市町村教育委員会 585 冊、その他 36 冊)

②平成 23 年度購入図書

総数 39 冊

4、刊行物

平成 23 年度、埋蔵文化財係が担当した刊行物の発行件数は、年報 1 件、調査報告書 4 件、計画書 1 件、図録 2 件の合計 8 件であった。

	書 名	巻次	体裁	総頁	内 容
1	平成22年度（2010年度） 日田市埋蔵文化財年報	-	A4	24	平成22年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財調査事業、埋蔵文化財保護事業、埋蔵文化財普及及び啓発事業などを所収。
2	「求来里の遺跡Ⅳ」 求来里平島遺跡4次の調査	102	A4	134	圃場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。古墳時代中期～後期の堅穴建物跡や掘立柱建物跡や中世の建物やピット等を所収。
3	慈眼山遺跡8次	103	A4	44	公民館建設に伴う埋蔵文化財調査の成果。15世紀後半～16世紀前半を中心とした掘立柱建物跡や溝状遺構、土坑やピット等を所収。
4	朝日宮ノ原遺跡・谷ノ久保遺跡	104	A4	64	畑地造成・福祉施設建設に伴う埋蔵文化財調査の成果。弥生時代後期～古墳時代前期頃の墳墓群や縄文時代晩期の土坑や建物を所収。
5	平成23年度 文化財指定記念特別展 ～小野川の阿蘇4火砕流と埋没樹木が語る9万年の世界～	—	A4	48	平成23年度に行われた文化財指定記念特別展に際し、製作された展示会の図録。1冊200円で販売をおこなっている。
6	天然記念物 小野川の阿蘇4火砕流堆積物及び埋没樹木群保存管理・活用構想	—	A4	88	平成23年度に2回にわたって開催された保存管理・活用構想策定委員会での検討に基づき取りまとめを行った計画書。
7	廣瀬淡窓の生家 - 廣瀬家の歴史と業績 -	—	A4	202	日田市教育委員会が大分県教育委員会、財団法人廣瀬家資料館の協力を受け進めてきた「廣瀬淡窓の生家 - 廣瀬家の歴史と業績 -」をテーマにした調査報告書
8	日田市の歴史と文化財	—	A4	152	平成17年3月に市町村合併後の日田市に所在する国・県・市指定文化財とそれ以外の主な文化財を紹介した文化財図録。一冊1,000円で販売をおこなっている。



平成23年度（2011年度）
日田市埋蔵文化財年報

発行日 平成24年5月31日

編集 日田市埋蔵文化財センター
日田市教育庁文化財保護課
〒877-0077
大分県日田市南友田町516-1
TEL 0973-24-7171
発行 日田市教育委員会
〒877-8601
大分県日田市田島2-6-1
TEL 0973-23-3111
印刷 株式会社 インデバイス
〒877-0076
大分県日田市亀川町848-1